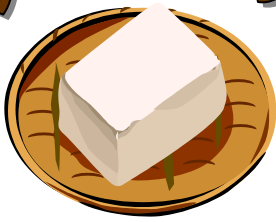


大豆畑便り



おとうふ日和

まいにちのおとうふは、どんな薬にも勝るもの。
そのままよし、煮てもよし、焼いてもよし。
本物の食は、すぐここにありました。

2008.号外(秋)

今年も元気に埼玉の大豆が育っています！畑ってあったかい！！

小川町の農家宇治川さんが育てている「青山在来」が「青山」になります。

皆さん、「手づくりやさん」のおとうふの中でも「青山」というおとうふがあるのをご存知ですか？実は、この「青山」、埼玉に昔から伝わる「青山在来」という大豆で作られています。「在来種」というのが何かというと、その土地の気候や土の性質などに合ったその土地ならではの種類のことで、虫もつきにくく、そこに住む人の口に最も合うと言われていています。この「青山在来」はまさしく私たちの地元、埼玉にぴったりの大豆というわけなのです。私どもの「青山」は小川町の農家さんたちが大切に大切に受け継いで、今も育て続けているものを使ってお豆腐にしあげています。



今年は太陽の恵みたっぷり！

暑い毎日が続いていますが、今年7月は涼しかったですね。7月の気候が低いと伸びないのですが、心配をよそに8月の太陽でしっかりと伸びてくれています！

青山在来の花の色は白

大豆は花が咲き、そこから枝豆ができてくるという植物。その花の色が何色かということ、青山在来の花の色は白色。品種によっては薄紫色の花を咲かせます。ちょうど、8月の20日頃から咲き始め、9月上旬まで、お花がキレイに咲いています。

お彼岸には枝豆が登場！

花が終わり、枝豆の季節がやってきます。今年は恐らくお彼岸の頃には皆様の前に枝豆を登場させられるかな？

水はけがよく、有機質の高い小川町の土壌で青山在来はたっぷりと甘みの強い大豆に育っています。宇治川さんがいうには、大豆って生きていくとのこと。農家の方に話しかけてくるそうです。太陽がおいしくて！そんな元気な大豆を私たちはおいしいおとうふに仕上げていく責任があるのかもしれないね。ちなみに、大豆畑の隣にはたわわに「栗」が実っていました。秋が楽しみですね！またお伝えします！